

# 悩み改善が重要に

今回の「病院の実力」は、精神科のうつ病治療を特集する。調査は、日本精神神経学会の研修施設に認定されている病院など1465か所を対象に実施し、305施設から回答を得た。

## 病院の実力 ～愛知編 42

### うつ病

うつ病は、▽抑うつ気分がほとんど一日中、毎日続く▽物事への興味や喜びが感じられなくなる▽不眠や睡眠過多がほとんど毎日ある——といった症状が表れる。症状が悪化すると、休職や自殺にもつながる。

治療は、抗うつ薬による薬物治療が中心。しかし、病の背景には仕事や人間関係、金銭面などの悩みがある場合が多く、これらを改善しないと十分な回復は難しい。そこで一覧表には、新規患者数に加

医療機関別治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	新規患者数 (人)	実施した精神療法	復職支援プログラムへのうつ病患者参加数
あらたまこころのクリニック	720	認 対 分 家 他	15
小牧市民	590	他	20
かちがわ心と体のクリニック	500	認 分	100
定塚メンタルクリニック	380	対 分 家 他	210
広小路通メンタルクリニック	350	認 家	-
中部労災	300	-	-
刈谷豊田総合	236	他	-
県立城山	180	-	-
藤田保健衛生大	173	認	0
愛知医大	150	対 分 家	5
国立長寿	96	分	0
あいせい紀年	84	認 分	0
名古屋市精神保健福祉センター	35	他	36
豊橋市民	15	-	0
岐阜南	250	認	5
岐阜			
県立多治見	220	他	10
岐阜大	95	認 家	0
須田	88	他	5
三重			
県立こころの医療センター	314	認 家	10
三重聖十字	20	対 家	0

実施した精神療法の「認」は認知行動療法、「対」は対人関係療法、「分」は精神分析的治療、「家」は家族療法、「他」はその他の方法。「セ」はセンター。「ク」はクリニック。「一」は不明または無回答。

あらたまこころのクリニック  
院長  
加藤正さん 53



### 自分自身と向き合い治療

うつを治療していく上で、抗うつ剤が有効なのは確かです。しかし、ただ服薬を続けていけばいいかと言えば、それは間違っています。うつの根本的な原因、背景

を正しく見極め、解消していく努力をしなければ、一時的に良くなったとしても再発したり、薬の量が増え、倦怠感や不眠が深刻になるなど悪循環に陥る恐れもあるからです。

うつを治療していく上で、抗うつ剤が有効なのは確かです。しかし、ただ服薬を続けていけばいいかと言えば、それは間違っています。うつの根本的な原因、背景

を正しく見極め、解消していく努力をしなければ、一時的に良くなったとしても再発したり、薬の量が増え、倦怠感や不眠が深刻になるなど悪循環に陥る恐れもあるからです。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は8月7日「慢性頭痛」の予定です。